

なごやか地域福祉ニュース

2015.3
第16号

発行：地域福祉に関する計画策定事務局

なごやか地域福祉2015が3月末に公表。4月末頃に配布が始まります。

「なごやか地域福祉2015」は、今年3月24日に開催される第4回策定委員会での検討を経て、公表になる予定です。計画の冊子は、3月末に公表となり、4月末頃には市政情報センターや各区役所、市・区社会福祉協議会にて冊子の配布を行いますので、ぜひ手にとってご一読ください。

策定の歩み

市政アンケートや福祉団体等へのアンケート調査を土台として、計画策定のための議論を進めてきました。



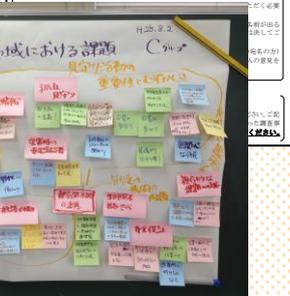
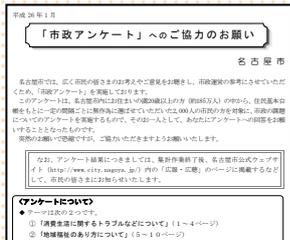
専門部会委員による
現地視察

先進的な地域福祉活動
を現地視察

市民及び福祉団体等へのアンケート調査を実施

市・市社会福祉協議会で合同設置した幹事会とワーキンググループにて、地域の福祉課題や生活課題について、議論

ワーキンググループ



策定委員会



公表へ

パブリックコメント

策定委員会及び専門部会を開催し、地域課題や解決のための方向性を議論

幹事会・ワーキンググループ

・市役所・社協の関係職員

専門部会

- ・学識経験者
- ・市民活動関係団体
- ・市民委員
- ・地域活動団体

「地域福祉に関する計画」策定委員会

- ・学識経験者
- ・関係団体
- ・市民委員

公式ホームページでは、計画の策定状況を順次お知らせしています。

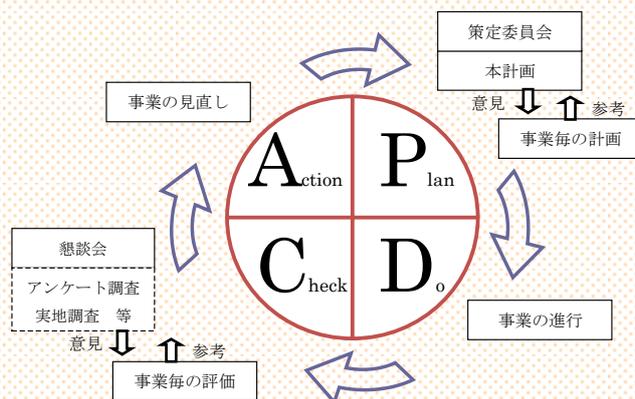
なごやか地域福祉2015

検索



計画の推進にあたって

本計画の計画期間は、平成27年度（2015年度）から平成31年度（2019年度）の5カ年とします。進行管理・評価は、市及び市社会福祉協議会が一体となって、市民、各分野の活動関係者及び学識経験者等で構成する「地域福祉に関する懇談会」（仮称）から意見を聴取することにより行います。

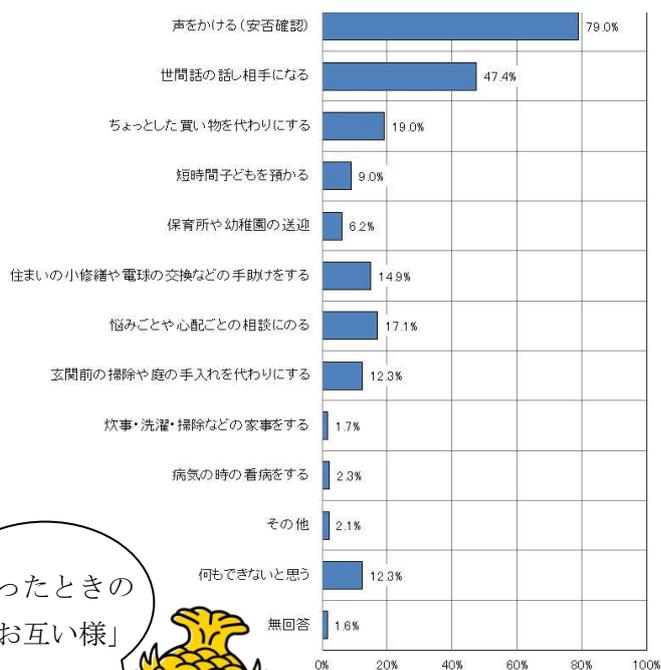


まず、私たちは何から始めたらよいのでしょうか？

地域のつながりをつくることや地域の困りごとを解決する担い手になるということは、とても大変な活動を担わなくてはならないイメージがあるでしょう。しかし、これは必ずしも役割を持って担うことではなく、その多くが挨拶を交わしたり、地域の行事に参加したりという日常的な営みの延長線上にあることです。

それは、顔を知ることから始まり、一言会話をしたり、ちょっとしたお裾わけをしたり、困りごとの愚痴をこぼしたりと、日頃の生活の中で、私たちはいつでもつながり始める可能性を持っています。その日頃のつながりがときに助けあい支えあうことの基礎となるのですから、その意味では、私たち一人ひとりの誰もが今日から明日からつながり、ちょっとした困りごとを解決する担い手となるための取り組みを始めることができるのです。

市政アンケート結果（平成25年度実施）
問「あなたは、地域の住民同士の「助け合い」として、何ができると思いますか。（○はいくつでも）」



困ったときの「お互い様」



会議傍聴のお知らせ(第4回策定委員会)

日 時：平成27年3月24日（火）14時00分～16時00分
会 場：名古屋市役所東庁舎(5階) 大会議室
(名古屋市中区三の丸三丁目1番1号)
受 付：当日受付午後1時から1時45分に現地。10名まで。



【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課・名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2547 / Fax 052-955-3367